



〔和泉草〕茶巾寸法同アシライ

一茶巾サバキ、眞ノ時ハ、如何ニモモデレヌ様ニ情ヲ入テ吉茶巾ヲ何方ニ成共置時モ、カロクイ
キヤカニ置テ吉茶巾ヲサバク間敷時ハ、茶碗下ニ不置以前ニ、茶巾ヲ水指ノ方ヘヤリテ吉茶巾
三ツ折用シ人有心ニヤ、二ツ折用モ有シ也、

一茶巾アイシライ難筆ニ盡功者ノアイシライヲ見習ベシ、○中略

一茶巾、天目ニハ三ツ折薄茶ノ茶碗ニハ二ツ折ト云、口ノ廣狹似合折歟、

〔寫本茶道筌蹄〕茶巾捌之事

茶碗へ仕込候節、能程にまめり在之様にして仕込置、茶碗ふき仕込候て、捌様は、右の大指と人差
指と二本にて取上、左勝手左の方へ耳を四度にのす、左右の手で角かけ候様にのし、左
の手にて中程より少下の方を取、内の方へ二ツに折、右の方二ツ指にて、又中程より少下をとり
内へ折込、左の小指無名指へ、右の中指にてのせ、右を放し、扱右の手大指を、上より茶巾の中へ當
て、人差指と二本にて折ながら持、左の手を抜直し、夫々の場へ遣し置、右の捌方をふくさめ、茶巾
といふ、右勝手は、茶巾の耳延し候節、右のかたへ、段々に引延し、其外替事なし、

但右左勝手ともに耳を延し候節、一より二三四とうつり候節、茶巾持手の縁の切れざるやう
に移りてのすなり、

○按ズルニ、凡ソ茶器ハ皆扱方アレドモ、今多ク省略ニ從フ、

〔南方録〕茶具客より所望して見る事、作用差排爰に略す

主の秘藏一物杯は、かねにても知れ、又はあしらいにて賞翫の道具と見ゆるものは、其一物を乞
て見るべし、其外さあらぬ道具品々、乞事不可有、茶入茶碗の袋、又は盆杯は、賞翫の一具なれば、乞
て可見、又茶入茶碗に添たる茶杓有物なり、乞て見るべし、主よりはかき疊に茶入茶碗も出す、客